

新しい・まっすぐな  
自民党

## かしま まさお



## ねりまタイムズ

第  
9  
号

発行責任者：練馬区議会議員 鹿島正雄（自由民主党 1期）

民泊を規制する区独自条例を制定  
～地域の良好な住環境を守ります。～

近年、訪日外国人観光客数が増加の一途を辿り、都心を中心に宿泊施設の不足が深刻化してきました。国は2020年東京オリンピックパラリンピックに向け、大きなコストをかけずに、宿泊施設の不足に対応するため、住宅宿泊事業法を制定し、民泊を解禁する方針を掲げました。改めてにはなりますが、「民泊」とは、これまで旅館やホテルといった施設のみに限られていた宿泊業を一般の個人宅や個人が所有する不動産においても実施することが出来るという「規制緩和」を指します。

本来の目的から言えば、シェアリングエコノミーとして期待できる民泊でしたが、実施解禁となる本年6月の住宅宿泊事業法施行を前に、いわゆる闇民泊のトラブルが顕在化してくるなど、様々な課題が浮き彫りになりました。

私の所にも、いわゆる闇民泊に関する騒音、ゴミ出し、治安悪化等のトラブルに関する相談を頂くことが少なくありませんでした。そこで練馬区では良好な生活環境を維持するため、民泊に関する独自の条例を制定することとしました。

具体的には住居専用地域において民泊が営業できる日を週末（金曜日の正午から月曜日の正午まで）に限定し、平穏な平日の住宅街環境を守ります。

また民泊業者が営業を開始する場合の近隣住民への説明を義務付けたり、営業を行っていることを周知する看板等の貼り付けを義務化するなど、適正な運営に向けた取り組みを行ってまいります。もちろん、事業者から宿泊者に対するルールマナーの順守徹底も求めてまいります。

適切に運用することが出来れば、地域活性化にも役立つ民泊。まだ始まったばかりの新制度ですが、動向を注視し、しっかりと取り組みを進めていきます。民泊に関するトラブル等が発生した際は「かしままさお事務所」もしくは、練馬区生活衛生課（03-5984-2485）までお寄せください。

## ブロック塀の緊急対策を実施します。



6月に発生した大阪府北部地域を震源とする地震により高槻市の小学校のブロック塀の倒壊が起こり小学4年生の児童の尊い命が犠牲となりました。

事案発生後、区議会自民党はすぐに区長並びに教育長に対し、緊急要望を提出し、早期の確認と対策を求めました。区ではこれを受け、各校による現状確認と建築専門職による

現場確認を行いました。その結果、道路沿いにある不適合ブロック塀等がある学校は、7校10か所であることが確認されました。（豊玉東小・開進第二小・開進第四小・練馬 第二小・大泉南小・南町小・豊玉中）

この7校に関しては、8月末までの緊急改修工事を実施します。

また近隣の大泉第二小・大泉第二中の学校北側のブロック塀に関しては、施工時に補強工事が実施されており、安全面に大きな問題はないものの、より安全性を高めるため、今後必要な部分を改修してまいります。

学校以外でも、区立施設・幼稚園・保育園・学童クラブ等も同様の対応をしてまいります。今回の事案を無駄にすることなく、子ども達はもちろん、区民の皆さまの安全安心に向け、しっかりと対策を図ってまいります。

# 定例会において子育て支援の充実を提案しました

本年4月時点での練馬区の待機児童数は「79名」で、残念ながら今年も待機児童の解消には至りませんでした。地域別での待機児童数を見てみると、練馬地域43名、光が丘地域23名、石神井地域10名となる中、**近年、私も力を入れて保育所誘致に取り組んできた大泉地域は3名と区内でも圧倒的に待機児童が少ない結果となりました。**



区では認可保育所だけを見ても、この5年間で都内最大級となる4500名以上の定員増を実現してきました。また区独自の取り組みである「練馬こども園」を創設し、3歳児以上の待機児童対策に対しても積極的に取り組みを進めてまいりました。また今年度からは私も提案を行ってきた、「送迎バスを用いた保育ステーション」を新設し、地域間の需給バランスを調整するなど、待機児童解消に向け、注力してきました。供給を増やしても、それが潜在的な需要を掘り起こし、需要が供給を上回ってしまうという結果が続いてしまいました。

私、かしままさおは、こうした状況を打破するため、「育児休業法の抜本的な改正を国に求めるべき」と区に提案をしています。育児休業法において、「育児休業は原則1年」と定義されており、育児休業給付金の延長をする場合は「保育園に入れず」ことが前提となります。

これは法律の存在が不要な保育園の需要を生んでいる状況を作っているとも考えられます。

「足りないから単純に供給を増やす」だけでなく、「需要が増える要因はどこにあるのか」等、総合的な視点で政策を進めていく姿勢が求められます。しっかりと現在と将来を見据えた、政策提言を行ってまいります。

また併せて、①2020年から開始となる幼児教育・保育の無償化の着実な実施に向けて準備を進めること ②認証保育所などの認可外施設も無償化の対象としていくよう国に求めること ③無償化による保育需要の伸びを適正に試算すること ④保育サービスの充実はもちろん、家庭で子育てを行う世帯に対しても、子育てのひろばの充実・子育てスタート応援券の充実を図ることなどについて、提案・要望しています。自身も1歳の息子の子育てに奮闘中の身として、皆さまの声を区政に届け、練馬区をより子育てしやすい環境にしていけるよう、引き続き、取り組んでまいります。

## 政務活動費について。

昨今、地方議会の政務活動費に関する不正が政治不信を招く原因となっています。かしままさおは「政務活動費の完全公開」を公約に掲げており、使用用途・金額の詳細を全て自身のホームページで公開しています。

また今年度からは、区議会全体においても、会派ごとの項目公開を実現することができました。区民の皆さまから信頼される区議会を目指して、詳細な完全公開実現に向け、引き続き声を挙げて参ります。

## 区政の相談ごとは・・・

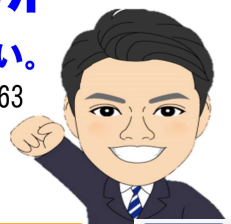
## かしま まさお事務所

までお寄せください。

練馬区南大泉3-9-22 TEL:03-6904-4363

(議員直通) 090-9325-5687

公式HP: kashima-masao.com



日々の活動はFacebookを中心に報告しています。友達リクエスト大歓迎です。



## かしままさお (鹿島正雄) プロフィール

練馬生まれ/私立暁星小中高卒/早稲田大学 政治経済学部政治学科卒

日本航空(株)での民間企業経験を経て、

公募で自民党の公認を獲得。

平成27年、練馬区議会議員選挙に初挑戦。

3547票の大きな期待を頂き、初当選。

**現在** 練馬区議会議員 1期  
1児のパパ

「**まっすぐに、誠実に。**」を胸に、区政に奮闘中。



地元町会・商店会・消防団でも

元気に活動中。

朝の駅頭で見かけた際は

是非、お気軽にお声がけください。